

- 市役所代表電話
☎0422-45-1151
代表電話ダイヤル後、交換手に各課の内線番号をお伝えください。
- 困りごとの相談は **市民相談専用電話**
☎0422-44-6600
- あなたのご意見を **市民の声専用FAX**
☎0422-48-2810
- 子どもを見守る **安全安心メールの登録**
✉maam@req.jp
あてに空メールを送信してください

「みる・みる・三鷹」JCN武蔵野三鷹チャンネル(地デジ11チャンネル) 第421回(2月2日～2月15日)
市民税・都民税と所得税の申告について/成人を祝福するつどい
放送時間/月～金曜日 8:30 12:30 19:30 22:00
土・日曜日 8:30 12:30 18:30 22:00

FMむさしの 78.2MHz
「おはよう!三鷹市です」放送時間/月～金曜日 10:20～10:25
「三鷹くちこみテレフォン」放送時間/木曜日 9:45～9:55

人口と世帯 平成26年1月1日現在 ()内は前月との増減
住民登録者数:180,194人(191人減△) 男:88,473人(108人減△)/女:91,721人(83人減△)
世帯:89,381世帯(153世帯減△)

三鷹の森 アニメフェスタ 2014

三鷹の森ジブリ美術館厳選! 傑作短編映画の上映と講演会

「アニメーション古今東西 その11」にご招待

主 市、三鷹の森ジブリ美術館
人 各回200人(市民=4人1組40組160人、市外=2人1組20組40人)
日 3月1日(土)①さまざまな技法のアニメーション「傑作短編映画5作品」上映=午後1時～3時、②「しわ」特別上映と根本かおるさん講演会(※)=午後3時30分～6時ごろ
※上映後、社会派映画の批評でも著名な国連広報センター所長の根本かおるさんに、作品の感想や社会的背景、演出の方法などを伺います。聞き手は、東海ラジオアナウンサーの小島一宏さん。
所 芸術文化センター星のホール
申 2月11日(祝)(必着)までに、はがきで代表者の必要事項(11面参照)・参加人数(代表者を含む)・希望の回(①②いずれか)を「〒181-0013 下連雀1-1-83三鷹の森ジブリ美術館「三鷹の森アニメフェスタ2014」係」へ(応募は1グループ1通とし、複数申込は無効。申込多数の場合は抽選)
※2月16日(日)以降、当選者に招待状を送付予定(電話による確認不可)。
※1人での参加も可。
※当日席あり(各回50人(先着制))。
問 同館ごあんないダイヤル ☎0570-055777

◆傑作短編映画5作品

「線と色の即興詩」(ノーマン・マクラレン 1955年・6分・カナダ) / 「花折り」(川本喜八郎 1968年・14分・日本) / 「小さな五つのお話」(岡本忠成 1974年・20分・日本) / 「クラック!」(フレデリック・バック 1981年・15分・カナダ) / 「木を植えた男」(フレデリック・バック 1987年・30分・カナダ)



「木を植えた男」©Société Radio-Canada

◆特別上映

「しわ」(原題Arrugas)(イグナシオ・フェレーラス 2011年・89分・スペイン)

スペインで公開されるや大きな反響を呼び、スペインのアカデミー賞にあたる第26回ゴヤ賞で「最優秀アニメーション賞」「最優秀脚本賞」、教育番組の世界的コンクール「日本賞」で2012年度グランプリを受賞。



「しわ」©2011 Perro Verde Films - Cromosoma, S.A.

原作は、スペインの漫画家パコ・ロカが描いた「皺(しわ)」。 「老い」や「認知症」と人はいかに向き合うかという重いテーマを、スペインの若き実力派アニメーターのフェレーラス監督が、温かな手描きアニメーションの手法でコミカルに描き出しています。

◆根本かおる(ねもと・かおる)さん プロフィール

国連広報センター所長。東京大学法学部卒。テレビ朝日を経て、米国コロンビア大学大学院で国際関係論修士号を取得。平成8年から23年末までUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)で難民支援活動に従事。ジュネーブ本部での政策立案および活動資金調達のコーディネート、WFP(国連世界食糧計画)広報官、国連UNHCR協会事務局局長も歴任。フリージャーナリストを経て25年8月より現職。



同フェスタは「広報みたか」2月16日発行号でもくわしくお知らせします。

会期終了間近

三鷹市山本有三記念館企画展

文学の彩り

山本有三作品の挿絵と装幀

日 2月23日(日)までの午前9時30分～午後5時(月曜日休館)
料 300円(20人以上の団体200円)
※中学生以下、障害者手帳持参の方とその介助者、校外学習の高校生以下と引率教諭は無料。「東京・ミュージアムぐるっとパス」をご利用いただけます。
※2月24日(月)～3月5日(水)は展示替えと館内整備のため休館。
※次回企画展「山本有三と国語」は3月6日(木)から。

山本有三記念館・三鷹ネットワーク大学共催関連講演会

有三版「日本国憲法前文」を読む

—わかりやすい国語と未来への希望

講師は編集者でフリーライターの円満字二郎さん。

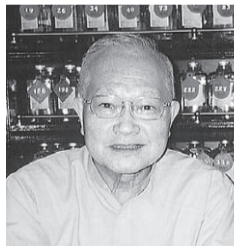
人 70人
日 3月15日(土)午後1時30分～3時
所 三鷹ネットワーク大学
申 往復はがきで氏名(2人まで)・代表者の住所・電話番号・何を見て応募したかを「〒181-0013下連雀2-12-27山本有三記念館講演会係」へ(先着制)
問 同館 ☎0422-42-6233



◆円満字二郎(えんまんじ・じろう)さん
プロフィール
昭和42年兵庫県生まれ。著書に「昭和を騒がせた漢字たち」(吉川弘文館)、「常用漢字の事件簿」(NHK出版)、「数になりたかった皇帝 漢字と数の物語」(岩波書店)などがある。

第11回文学講演会

主 市、株屋摩書房
人 150人
日 2月15日(土)午後2時～4時(1時30分開場)
所 三鷹産業プラザ
申 当日会場へ(先着制)
問 コミュニティ文化課 ☎内線25155
◆大村彦次郎(おおむら・ひこじろう)さん
プロフィール
昭和8年東京生まれ。早稲田大学政治経済学部・文学部卒業後、講談社入社。「小説現代」群像編集長を経て、文芸出版部長、文芸局長、取締役を務める。



大村彦次郎さんによる 文学講演会

丹羽文雄、吉村昭、新田次郎
— 同人誌「文学者」の作家たち

戦前から文壇に評価され、戦後も旺盛な作家活動を続けた丹羽文雄は、新人の育成にも情熱を傾け、自費で発行した同人誌「文学者」からは、吉村昭・津村節子夫妻、新田次郎など多くの優れた文学者を輩出しました。今回の講演会では、三鷹ゆかりの作家たちの話をお話しいたします。講師は編集者で文芸評論家の大村彦次郎さん。

第46回太宰治作品朗読会「走れメロス」

朗読は演劇集団アクト青山主宰で、俳優・演出・脚本を手掛ける小西優司(こにし・まさもり)さん(写真)。

人 25人
日 3月8日(土)午後6時～6時50分
所 太宰治文学サロン
申 2月24日(月)までに往復はがきで必要事項(11面参照)・参加希望人数(2人まで)を「〒181-0013下連雀3-16-14グランジャルダン三鷹1階太宰治文学サロン第46回朗読会係」へ(応募は1人1通まで。申込多数の場合は抽選)
問 同サロン ☎0422-26-9150

